ガス風呂釜浴室内設置型〈BF型〉
給湯・シャワー付タイプ

31−616/617型
31−618/619型

型式名 SR-S

取扱説明書

大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガスのお問い合わせ先

支社	所在地	電話	郵便番号
大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06(586)3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻 0726(71)0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸 078(360)3100	〒650
京都支社	京都市下京区中堂寺栗田町1	電話 京都 075(311)7381	〒600
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡 0796(23)2221	〒668
滋賀支社	草津市追分町字荒堀680-1	電話 草津 0775(62)5311	〒525
滋賀東支社	彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜 0749(62)7171	〒526
本社・ガスビル サービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪 06(202)2221	〒541

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にして(火気に注意して)もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

5100798000

OH-10

ごあいさつ

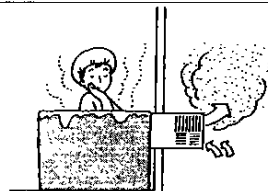
このたびは、大阪ガスの風呂釜浴室内設置型〈給湯・シャワー付〉をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

特徴・機能のご紹介

●空気を汚さず快適です。

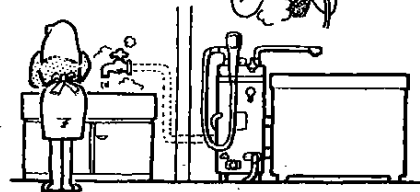
燃焼に必要な空気を屋外から取り入れ、排気も屋外へ。
浴室内の空気を使いません。

●便利で経済的な１台３役です。

給湯器を内蔵しているので、シャワー・あがり湯・追いだきと１台３役の働きをします。

●お好みの湯温にできます。

シャワー・あがり湯は、湯温調節つまみと能力切替つまみの組み合わせでお好みの湯温に調節できます。（P．8をご覧ください。）

●台所・洗面所でもお湯が使えます。

給湯配管すれば、台所・洗面所でもお湯が使えます。
（P．9をご覧ください。）

●シャワーと給湯の切替は簡単なワンレバー操作です。

必ずお守りください

ガスモレ・やけど・火災 故障などを防ぐために

●ガスの種類を確かめてください。

●本体前板面に貼付されている銘板の表示以外のガスは使用しないでください。

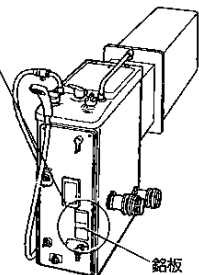
銘板例　〔注〕この部分を必ずご確認ください。

上り湯用[illegible]付ふろがま

型式名		SR-S
都市ガス		13A・12A用
13A	最大	12,400Kcal/h
	ふろ	8,500Kcal/h
12A	最大	12,000Kcal/h
	ふろ	8,000Kcal/h

株式会社 ガスター

設置の方式
外　壁　用（BF-W）
チャンバー用（BF-C）

銘板

●本器の用途について

●風呂の追いだきおよび給湯以外には使わないでください。
●器具内に長時間たまった水は飲用、または調理には使わないでください。

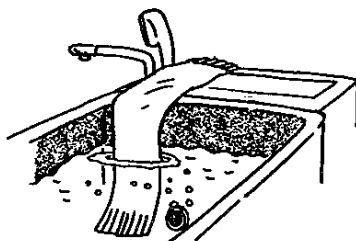
●補助用具について

●この器具の純正部品以外は使わないでください。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使わないでください。（給湯配管をしている場合）
●市販の湯ざめ防止器などを取り付けて使わないでください。（風呂釜の寿命を短くすることがあります。）

●空だきのご注意

追いだきをするときは、浴そうに水があること（上部循環口から10cm以上）を確認してから操作してください。

●入浴時のご注意

●この風呂釜は下部循環口よりつめたい水が入り、上部循環口より沸いた湯が出る循環形式のものです。浴そう水の上部と下部には相当な温度差があります。入浴時にはじゅうぶんかきまぜてください。
●浴そうの循環口をタオル等でふさがないでください。循環口をふさぎますと循環不良となり、追いだきができません。

●入浴剤のご注意

硫黄、酸、アルカリをふくんだ健浴剤や洗剤は、熱交換器の腐食の原因となることがありますので健浴剤等のご使用文を十分ご参照ください。

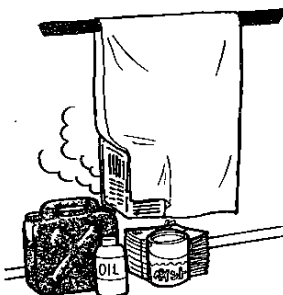
●長期間使用しない場合

●給水栓、ガス栓をしめ、水抜きを行ってください。（P.12「凍結予防のしかた」をご覧ください。）
●再使用するときは、しばらく水を流してから使用してください。

●やけどのご注意

使用中および消火直後は、給排気トップが高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。

●火災予防について

屋外の給排気トップの上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、洗たく物やビニールなどでふさがないでください。

●凍結予防について

●冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具および配管内の水が凍って、器具や配管を破損することがあります。
●詳しくはP.12「凍結予防のしかた」をご覧ください。

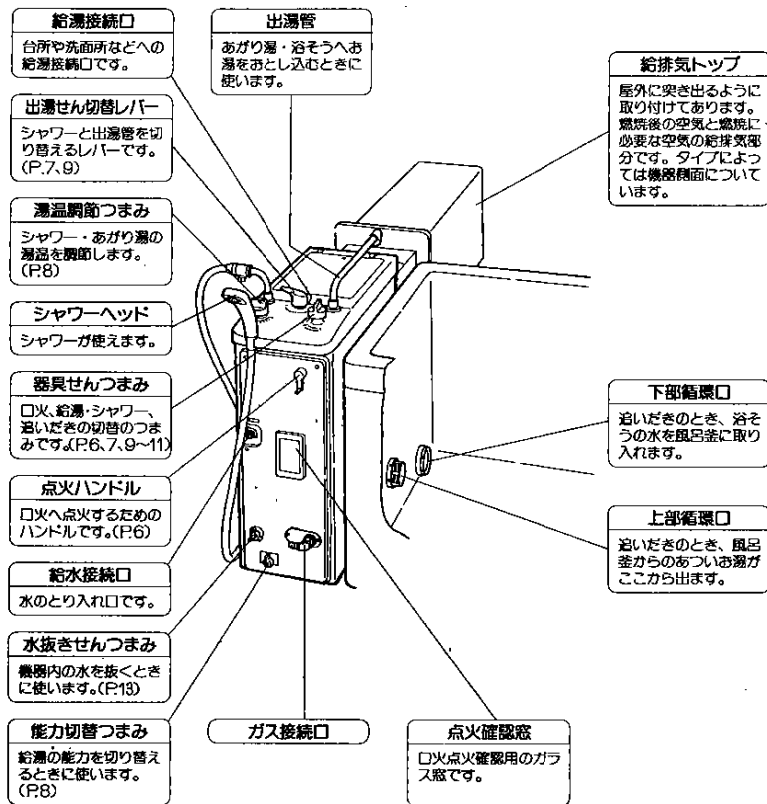
●日常の点検・お手入れ

●日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
●詳しくはP.15「点検・お手入れ」をご覧ください。

●ガス事故防止

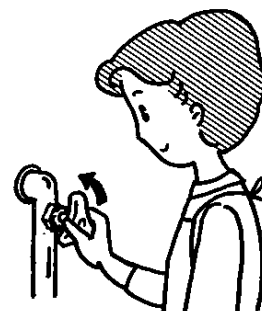
●使用後は必ず口火を消してください。
ガス漏れに気づいたときはすぐに使用をやめてガス元栓をしめ、お求めの販売店か最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

係員が処置するまでは、マッチやライター等を使ったり、電源プラグの抜き差しや電気器具の「入」「切」は絶対にしないでください。
●万一、異常と思われるとき（使用中に異常音のするとき等）は、口火を消し、ガス、給水栓をしめ、お求めの販売店か、最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

各部のなまえと扱いかた

※イラストの機器は右水管です。左水管では、給水接続口・能力切替つまみ・循環口・シャワー・出湯管などの位置が逆になります。

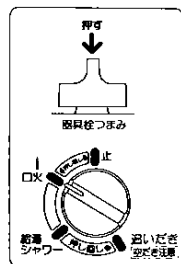
初めてお使いいただくときに…

●操作前の準備と確認

1 給水元栓を全開にする

2 ガス元栓を全開にする

使用方法

●口火への点火

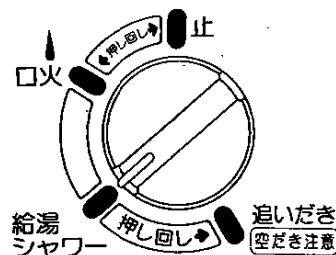
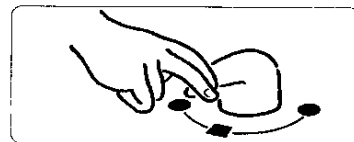
1 器具栓つまみを押しながら左に回し、「口火」の位置に合わせます。

2「口火」の位置で器具栓つまみを押したまま、点火ハンドルを右に回します。

3 点火確認窓で点火したことを確かめてそのまま器具栓つまみを約５秒間押し続けます。

4 押している手を離しても、点火していることを確認します。

器具栓つまみを押している時間が短かったり、押しかたが弱いと、手を離したときに口火が消えることがあります。そのようなときは、もう一度やり直してください。

●給湯・シャワーの使いかた

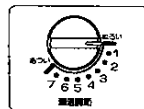
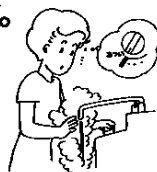
1 器具栓つまみを「給湯・シャワー」の位置に合わせます。

2 出湯せん切替レバーを「シャワー」または「給湯(出湯管)」にあわせます。
給湯バーナーに点火し、お湯が出ます。

(イラストは右水管です。左水管はシャワー・出湯管が逆になります。)

特にシャワーを使用されるときは、直接体にかけずに手で湯温を確認してください。

使用方法

3湯温を調節する

(1)湯温調節つまみで温度を調節します。

●「あつい」に回すと湯量が減ってあつくなります。

●「ぬるい」に回すと湯量が増えてぬるくなります。

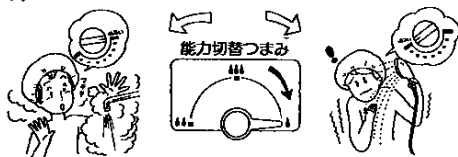
(「ぬるい」で1分間に約10ℓのお湯が、「あつい」で約3ℓのお湯が出ます。)

①繰り返して使う場合（または口火をつけたまま）は始めにあつい湯が出るときがありますのでご注意ください。

②湯温調節は必ず湯温調節つまみで行ってください。出湯せん切替レバーでの湯量の調節はしないでください。

③湯温調節つまみは同じ位置につまみを合わせても、水温によって湯温が変わります。

(2)能力切替つまみで温度を調節します。

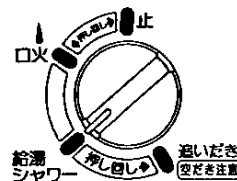
季節によって水温が変わると、湯温調節つまみではお好みの温度が得られないことがあります。湯温調節つまみを「ぬるい」にしても、お湯があつすぎたり、「あつい」にしてもあつくならないときは、能力切替つまみを回して調節します。

炎のマークが少ない「🔥」の方がぬるく、多い「🔥🔥🔥」の方があつくなります。

能力切替つまみは必ず炎のマークのある位置（3段階）でお使いください。つまみをきちんと炎の位置に合わせないと点火しないことがあります。

4止めるときには、出湯せん切替レバーを■(止)の位置にします。

●給湯バーナーが消火し、お湯が止まります。口火は点火しています。

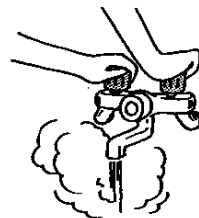
●器具から配管してある給湯栓の使い方（台所・洗面所など）

1器具栓つまみを「給湯・シャワー」の位置に合わせます。

2使用する場所の給湯栓をあければ、お湯が出ます。

●ご注意

①浴室以外でお湯をご使用になる場合、お湯が出てくるまで時間がかかります。

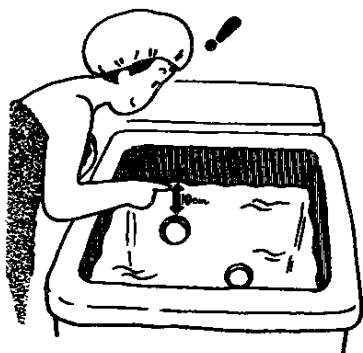
②浴室以外でお湯を使用中に浴室のお湯かシャワーを使いたいときは、それぞれのつまみをあければ使えますが湯量は減ります。

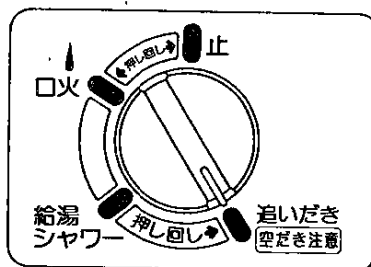
③混合水栓で使用される場合、給水側を出し過ぎるとお湯にならないことがあります。

使用方法

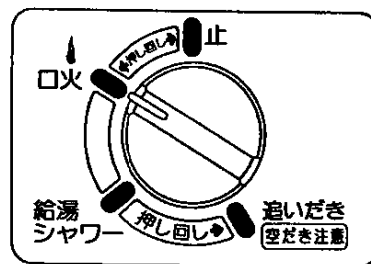
●お風呂を沸かす場合(追いだき)

浴そうに給湯した後、お湯の温度がまだぬるい場合は次の要領で風呂を沸かしてください。
浴そうへ水を入れてから沸かす場合は給湯で落とし込むより時間が長くかかります。

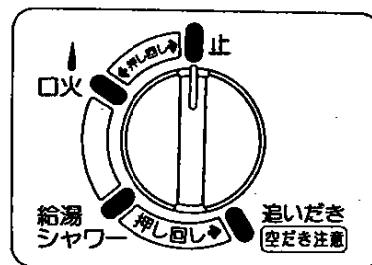
1 点火前に浴そうに水(またはお湯)が十分満たされていることを確認して下さい。

- ●浴そうの排水栓は水漏れのないよう、しっかり差し込んでください。
- ●浴そう内の水面が上部循環口の上より10cm以上あることを確認してください。
- ●追いだきしながら給湯・シャワーを同時に使用することはできません。

2 器具栓つまみを押しながら、「追いだき」に合わせます。

- ●点火音がして追いだきを始めます。

3 風呂追いだきを止めるときは、器具栓のつまみを「給湯・シャワー」または「口火」の位置に合わせます。

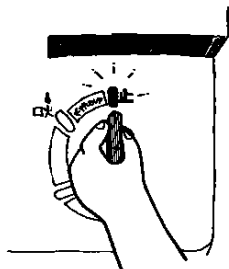
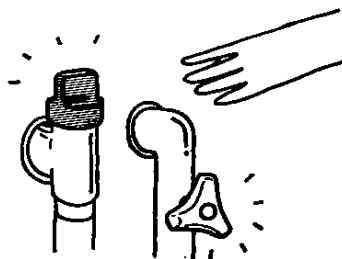
- ●追いだきを停止します。
- ●追いだき終了後は水面上部が熱くなっていますので、かきまぜて入浴してください。

●ご使用後

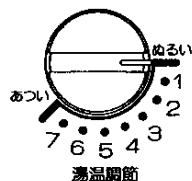
器具栓つまみを押しながら、「止」にもどします。

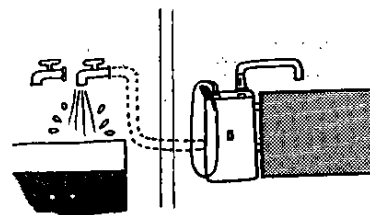
- ●口火が消火します。

凍結予防のしかた

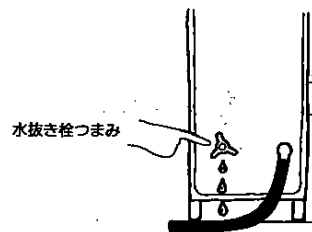
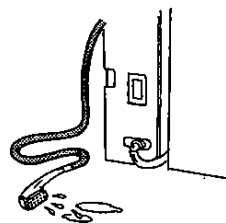
冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため器具や配管が破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかる場合があります(有料)。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次の方法で予防処置を行ってください。

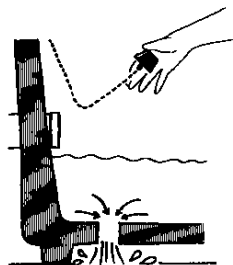
●器具内の水を抜く方法
(入居前や長期不在の場合も同じ操作をしてください。)

①器具栓つまみを「止」の位置にします。

②ガス元栓、給水元栓をしめます。

③湯温調節つまみを「ぬるい」にします。

ぬるい
あつい
1
2
3
4
5
6
7
湯温調節

④出湯せん切替レバーを給湯(出湯管)側にします。

⑤台所、洗面所などに給湯している場合は、給湯先の給湯栓も全開にします。

⑥水抜き栓つまみを左にいっぱいに回してあけ、給湯器の水を抜きます。

●水が流れ出します。

⑦シャワーホース内の水は、出湯せん切替レバーをシャワー側にして、シャワーヘドをハンガーからはずし、ヘッドの位置を低くして抜きます。

凍結予防のしかた

⑧排水栓を抜き、浴そうの水を抜きます。

次に使用するときは、水抜き栓、給湯先の給湯栓(給湯配管している場合)をしめ、ガス元栓、給水元栓をあけ、出湯せん切替レバーを「シャワー」または「給湯(出湯管)」にあわせ水の出ることを確認してから操作してください。

●水を流しっ放しにする方法

①器具栓つまみを「止」の位置にします。

②ガス元栓をしめます。

③出湯せん切替レバーを「シャワー」または「給湯(出湯管)」にあわせます。

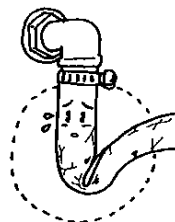
④給水元栓で水を1分間約200cc.（牛乳ビン1本ぐらい）流れるよう調節し、流しっ放しにしてください。

●上記の凍結予防をしないで、器具が破損した場合の修理は保証期間内でも有料です。
●万一、凍結した場合は、シャワーまたは出湯管から水が出ることを確認してからご使用ください。
●凍結して水が出ない状態で使用されますと危険な場合があります。

点検・お手入れ

●日常の点検

1 器具や配管から、水もれやガスの臭気はありませんか。

2 接続がゴム管の場合
- ●ゴム管が古くなってひび割れしたり、折れていませんか。また、ゴム管がガス栓やガス接続口に十分に差し込まれ、ゴム管止めで止めてありますか。
- ●ゴム管およびゴム管接続部からガス漏れしていませんか。ときどき、石けん水で点検してください。
- ●ゴム管を取り替える場合強化ガスホースを使用し、ガス接続口の赤線のところまで差し込みゴム管止めでしっかり止めてください。

3 給排気トップのそばに燃えやすいものはありませんか。

4 浴室の排水口はつまっていませんか。

5 運転中に器具から異常音が聞こえませんか。また、異常な燃え方をしていないか点火確認窓から確かめてください。

6 本体の穴あき、点火確認窓のガラス割れなどはありませんか。

7 泡沫水栓をご使用の場合は、ときどき内部のフィルターを掃除してください。(給湯配管をしている場合)

●定期点検のおすすめ

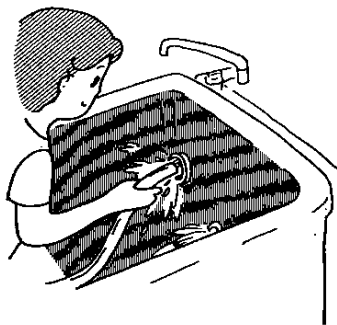
安心してより長くご使用いただくために、年一度の安全点検をおすすめします。
お求めの販売店か、最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

点検・お手入れ

●日常のお手入れ

1 本体は中性洗剤をしめしたやわらかい布で軽くふいてください。
点火確認窓は湯あかがつきやすいので、こまめにみがいてください。

※ステンレスでもさびることがあります。ヘアピン、金属片等を置いたり、タワシやブラシなどでこすらないように注意してください。

2 浴そうを洗うときは風呂釜も洗ってください。洗い方は循環口に水道のホースを入れ、勢いよく水を注ぎ込み、上下交互に水洗いしてください。

●お手入れの前には、必ずガス元栓、給水元栓をしめ、器具が冷えてから行ってください。
●器具は絶対に分解しないでください。

故障かな?と思ったら

●こんな場合は異常ではありません。

現　象	理由と処置
長期間使用しなかった後、なかなか口火に点火しない。	口火に点火するまで点火操作を2～3回行ってください。
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。（洗面所・台所などで給湯配管をされているとき）	器具から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱すると気泡となってあらわれるためで、異常ではありません。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

こんなとき（現象）／お調べいただくこと（原因）	口火：点火しない・しにくい	口火：器具栓つまみから手を離すと消える	メーンバーナー：着火しない・しにくい	使用中に消火する	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	高温では着火するが低温では着火しない	出湯せんを開いても着火しない	追いだきが使えない	かまなりがする	処理方法	参照ページ
ガス元栓のあけ忘れ	○										ガス元栓をあける	5
ガス元栓の開き不十分	○		○		○						ガス元栓を全開にする	5
ガスが無い（LPガス用）	○		○	○	○						販売店に連絡する	–
配管内に空気が残っている	○										点火操作を繰り返す	6
ガス圧が適切でない	○		○	○	○	○					※	–
ゴム管の折れ曲り、つぶれ	○			○	○						ゴム管の折れ、曲りを直す	–
給水元栓のあけ忘れ			○					○			給水栓をあける	5
給水元栓の開き不十分			○			○	○	○			給水元栓を全開にする	5
水圧が適切でない			○	○		○	○	○			※	–
水フィルターのつまり			○	○		○	○	○			※	–
凍結している								○			解凍まで使用を中止	12
点火操作が適切でない	○										「使用方法」のP.6を参照	6
器具栓つまみ保持時間不足		○									「使用方法」のP.6を参照	6
循環パイプのねじれ、つぶれ										○	※	–
バーナー炎口づまり	○		○								※	–
浴そうの水が少ない				○						○	浴そうに水を加える	10
器具栓つまみの位置が適切でない								○	○		「使用方法」のP.7、10を参照	7 10
湯温調節つまみの位置が適切でない					○	○					「使用方法」のP.8を参照	8
能力切替つまみの位置が適切でない					○	○					「使用方法」のP.8を参照	8

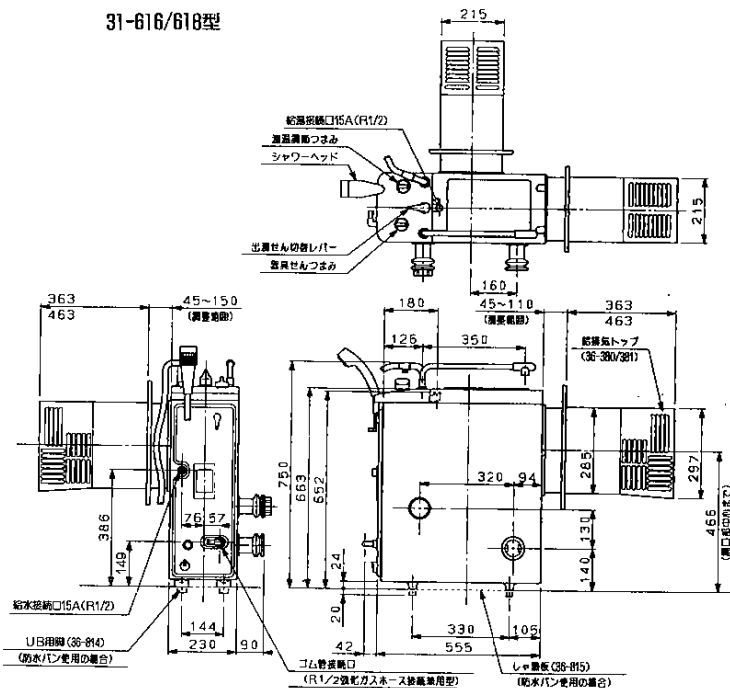
※印の場合は使用を中止して、大阪ガス支社にご連絡ください。

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

●修理は絶対にお客さまご自身でなさらないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

寸法図

●寸法図

31-616/618型

●31-617/619型は循環口、シャワー、出湯管、給水接続口、能力切替つまみの位置が異なります。

●この仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

仕様

●仕様表

項目		内容
種類		ガス風呂釜浴室内設置型〈BF型〉
商品名		31−616、617、618、619
型式名		SR−S
外形寸法		高さ663×幅230×奥行555㎜
外装材質		ステンレス鋼板
重量(本体)		18.5kg
給排気トップ		壁貫通部穴径：高さ350㎜×幅230㎜
接続口	ガス	ゴム管接続(R1／2強化ガスホース接続兼用)
	給水,給湯	15A (R1／2)
	循環パイプ	φ45㎜
※ガス消費量(kcal/h)	給湯	(大)12,400 (中)8,000 (小)4,400
	追いだき	8,500
※能力	給湯	(大)6.5 (中)4.3 (小)2.3
	追いだき	沸上がり時間 (水温15℃→湯温40℃ 浴槽180ℓ) 44分
水圧	使用水圧	0.7kg/㎠以上
	最低作動水圧	0.4kg/㎠
点火方式		圧電式
安全装置		立消え安全装置 過圧防止安全装置 空だき安全装置 器体過熱防止装置 水抜き栓
付属部品		取扱説明書 工事説明書 保証書

※ガス消費量および給湯能力はガス種によって多少異なります。

保管とアフターサービス

●保管(長期間使用しない場合)

●給水元栓、ガス元栓をしめ、水抜きを行ってください。
(P.12「凍結予防のしかた」をご覧ください。)
●再使用するときは、しばらく水を流してから使用してください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●**サービス(点検・修理)を依頼される前に**
「故障かな？と思ったら」(P.17・18)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●**ご連絡の際には次のことをお知らせください。**
1.品名……………ガス風呂釜浴室内設置型〈BF型〉
2.品番……………器具の前板面に貼付してあります。

〈例〉
(N) 31−616
大阪ガス株式会社

3.現象……………できるだけ詳しく。
4.道順……………できるだけ詳しく。

転居されるとき

●**ガスの種類の異なる地域へ転居される場合**
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

●**保証期間中は……**
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●**保証期間経過後の故障修理について**
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後7年間です。